



はじめてとらきち君からの手紙を読む方へ、はじめ君とよう君は店長の孫です。

多少の可愛いがりすぎは、お許し下さい。



はじめ君、夕張メロンの入ったかき氷を前にご機嫌です！はじめ君はホントによく食べます。5歳にして、完全にボクより食べる。小学生のうちに、ボクの身長を超えてしまうんだらうなあ(^_^) やっぱり、今のうちに可愛がっとう！



ようくんは、8ヶ月にしてつかまり立ちができた！これは、一般的に早いのか遅いのかはどうでもいい、感動した！オリンピックで日本が金メダルを取るより嬉しかった(^_^)！



8月6日の土曜日には、静岡の薬局さんで出張笑いヨガ。総勢で60名ほどで笑いました。調剤薬局と

言うこともあり、色々な病気をお持ちの方がたくさん来られましたが、みなさん、パワー全快で大笑い！楽しかったなあ(^o^)

翌日は、研修会が名古屋で開催されるため車で移動です。新東名は快適です。車が少ないのも良いのですが、サービスエリアのトイレのきれいなところには、ホントに感動さえ覚えます。陰で綺麗にしている方に**感謝!** インターネットで海外の映像や写真を見る度に「ああ～日本っていいなあ」って思います。リオのオリンピックで新築なのに、選手村のシャワーのお湯が出ないとか、トイレの水が出ないとか、日本じゃ考えられませんよね！



でも、オリンピックも大きな事件や事故もなく、日本選手の活躍でいっぱい勇気と感動を貰いました。

特に重量挙げの三宅選手が痛み止めを打ちながら、見事バーベルをあげたあと、降ろしたバーベルにハグし「**ありがとう**」って言っている姿には、涙が出ました。今の車にも運動にも興味のない若者達よ！スマホでゲームばかりしないで、こんな場面を見て「感動」してくれえ～「クソみやじ、ウザイ」って聞こえたような(-_-)。

当日はグリーン会(愛知県を中心に、静岡、神奈川、岐阜、富山、石川、京都、長野等会員数1600店の薬局、薬店の専門家グループ)の経営セミナーです。一応ボクはその何もしない副会長をしているので、ご挨拶。久々に会場が一杯になる会員さん達が集まりました。



メインは、関東クリニック院長、松本光正先生による「笑いと健康」の講演です。内科医を47年間している中で、脳梗塞にならないように血圧の薬を飲むのに、飲んでる人がなんでこんなに

脳梗塞で死ぬのか…に疑問を思った事から今の松本先生がいらっしやいます。

「ぼくのクリニックには、毎日たくさんの患者?さんがみえます。ありがたいことなのですが、そのうちの99%は来なくてもいい人達です。80歳にもなる人が『先生～私、動脈硬化ありますかあ?』と言っている。80歳にもなって『ありますかあ?』と聞かれても、『ないわけがない!あんだ、全身動脈硬化の塊だよ』とは中々言えない(笑)」

「体に起こることには、全て意味がある」
「年をとると動脈硬化が起こって血管の間も狭くなり、心臓あたりから血の塊も飛んでくる。このような年をとることによって生じる問題を吹き飛ばすため、体は血圧を上げている。それなのに「病気だ」「薬が必要だ」と言っているわけです。高血圧とは、生きるために体の中で起こる状態で有り、決して「症」ではありません。インフルエンザにかかって、熱が出たり、悪い物を食べて下痢をしたりするのも同じです。ウイルスをやっつけるために熱を上げ、体に入った悪い物を出そうと下痢をする。熱が出ることも下痢をすることも悪いことではないのです。それを今の医療は、熱が悪い、下痢が悪いと言う。なぜ、こうなったかをみない、心が無いのです。心があつて肉体がある、ここが抜けている。心をよくする為には、プラス思考で明るく朗らかに笑うことがいい。プラス思考の最高形態が笑いです。病気を作るストレスには**笑いが一番!**
痛快! 笑いは最高の治療薬(*^-^*)